

6上「みんなで作るパンフレット」

みんなで解決したい問い

相手や目的を意識し、図表や写真、絵などを使って表現を工夫しながら、地域のよさを伝えるパンフレットを作ろう。

主体的に学習に取り組む態度

わかること・できること **知識・技能**

- ⑦ パンフレットにのせる情報について、図表や写真、絵などを使った表し方を理解して使う。(2)イ

考えること・表すこと **思考・判断・表現**

- ① 知らせる目的や相手のことを意識し、分量や内容を工夫して書く。(B(1)ウ)
- ② 文章だけで伝わりにくいところは、図表や写真、絵などを入れて、わかりやすく書く。(B(1)エ)

工夫して学ぼうとすること

- ④ 積極的に相手や目的に応じて内容や構成を考え、学習課題にそってパンフレットを作ろうとする。

第3 ステージ (1) 時間

評価 ①

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

- ④ パンフレットにこめた思いや工夫、学習を通して考えたことを「あとがき」として書く。パンフレットを読み合い、学習を振り返る。

第1 ステージ (1) 時間

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

- ① 相手や目的を意識して、地域のよさを伝えるパンフレットを作るという学習課題を立てる。実物のパンフレットを読み、構成や表し方の特徴を探る。パンフレットで知らせたい内容をグループで話し合う。

スタート

【この単元に関わって知っていること・できること】

どのような言語活動を通してどのような力をつけてきたか？

表現を工夫してポスターを作る活動を通して、考えを深め、相手や目的、内容に合わせて書く。

【この単元を通した振り返り】

ふり返りの観点

- ・知らせる目的や相手のことを意識して、わかりやすいパンフレットを作るために、どんな工夫をしましたか。

第2 ステージ (2) 時間

評価 ②③④

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

- ② グループで作るパンフレットにのせる情報を検討し、その構成と分担を話し合う。
- ③ 表し方を工夫してパンフレットを作る。読む人に伝わりやすいかどうかを観点に推敲する。

小学校6年『みんなで作るパンフレット』授業のポイント

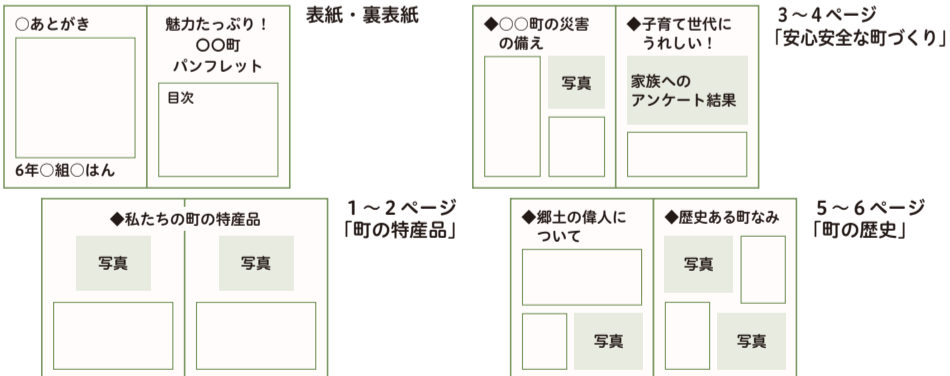
単元名 相手や目的を意識してわかりやすいパンフレットを作ろう

本教材には、どのように表し方を工夫すれば、読む人にとってわかりやすいパンフレットを作成できるかという問題意識に基づいた活動が、学習過程にそって具体的に示されています。本単元で扱うパンフレットは、広く知らせたいことなどについてまとめたものを、少ないページでわかりやすく伝えることを学ぶために有効な学習教材です。

1 単元で身につけたい資質・能力

本単元では、パンフレットの特徴を踏まえ、自分たちが伝えたいことについて、テーマ、分量、構成を決めて書く力をつけます。また、絵や図、グラフや写真などを効果的に用いて、相手や目的を意識しながらわかりやすくまとめることができるようになります。

〈パンフレット構成例〉



2 評価規準

評価の観点	評価規準
知識・技能	・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。…(2)イ
思考・判断・表現	◎「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。…B(1)ウ ・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。…B(1)エ
主体的に学習に取り組む態度	・粘り強く相手や目的に応じて内容や構成を考えたり、図表や写真、絵などを工夫して使ったりして、学習課題にそってパンフレットを作ろうとしている。

本単元における子どもたちのゴールイメージ

本単元では、地域のよさをどのように伝えればよいかを考えます。そして、伝えたい相手と目的を明確にしたうえで、表現の工夫を考え、パンフレットにまとめます。

ラーニング・マウンテンの第1ステージでは、実物のパンフレットを参考にして、その特徴を見つけます。そして、第2ステージの②の段階において、グループで構成を考え、書く分担を決めます。③では、読む人にわかりやすく伝えるために、表現を工夫しながらパンフレットを書き、グループ内で推敲します。

第3ステージでは、パンフレットに「あとがき」を書いたあと、他のグループとパンフレットを読み合い、伝えたいことをわかりやすく表現できている点や感想を伝え合います。

パンフレットの「あとがき」を書いた文章例

A 私は、自分が小さいころから住んでいるこの街が好きです。この街に住む人が年々減っていると知り、少しでも人を呼びたいと考えました。パンフレットは、写真を多く入れたことで街のよさを具体的に伝えることができたと思います。このパンフレットを読み、一人でもこの街に引っ越してくれたらうれしく思います。

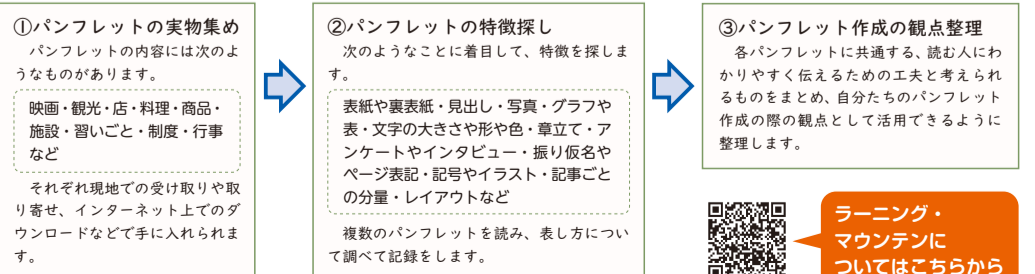
B 人口の減少が進むこの街に、引っこす人を呼びこんで街を元気にしたいと思って書きました。(秋山)
写真を多く取り入れて作ったので、街の具体的なイメージをもってもらえるのかなと思います。(山口)
街特有の言葉や難しい言葉には、脚注を付けたので、多くの人に読んでもらえると思います。(岡林)
パンフレットを読んだかたに、私たちの思いが伝わるといいなと思います。(坂本)

解説 「あとがき」には、パンフレットを通して伝えなかった目的、パンフレットの特徴にそった表現、読む人がわかりやすく読める工夫、この学習の課題解決を通して考えたことなどを観点として記述します。上記のAは、作成したパンフレットに合わせて主だった観点を取り上げて書いています。Bは、観点ごとに分担をして書いています。「あとがき」を書くことで、他のグループではどのようなことを工夫してパンフレットを作成したのか、参考にしながら読み合うことができます。

ワンポイント

実物からパンフレットの特徴探しに挑戦!

生活の中にあるパンフレットの実物をモデル教材として扱うことで、学習への現実感や必要感もちやすくなります。また、学習後の言語生活の中で、学習して得た力を活用していくことに具体的なイメージをもつことができます。ここでは、第1ステージにおけるパンフレットの特徴探しの進め方を示します。



ラーニング・マウンテンについてはこちらから

6上『みんなで作ろうパンフレット』

みんなで解決したい問い

わかること・できること

考えること・表すこと

工夫して学ぼうとすること

【第3ステージ()時間】

〈こんな学習をしてこんな力を!〉

.....

.....

【第1ステージ()時間】

〈こんな学習をしてこんな力を!〉

.....

.....

【第2ステージ()時間】

〈こんな学習をしてこんな力を!〉

.....

.....

.....

.....

【この単元を通したふり返り】

ゴール



スタート



【この単元に関わって知っていること・できること】

.....